平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名　JALCOホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6625　URL　http://www.jalco-hd.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 田辺　順一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 大浦　隆文　TEL 050-5536-9824

四半期報告書提出予定日　平成25年8月7日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,421	375.1	60	―	77	―	229	―
25年3月期第1四半期	299	―	△54	―	△70	―	△108	―

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　221百万円　(―%)　25年3月期第1四半期　△113百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	6.03	―
25年3月期第1四半期	△10.71	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	2,812	1,795	63.8	44.97
25年3月期	1,750	1,322	75.2	36.37

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　1,795百万円　25年3月期　1,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	0.00	0.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,200	250.1	160	―	170	―	280	―	7.17
通期	7,000	108.9	400	―	420	―	430	―	10.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	39,925,915 株	25年3月期	36,175,915 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	128 株	25年3月期	68 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	38,058,807 株	25年3月期1Q	10,175,850 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する主旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（４）（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（５）（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策と日銀の金融政策をはじめとした各種政策などによる経済成長への期待感から景況感は回復しつつあるものの、海外景気に対する不安感や電気料金の値上げ、原材料価格の上昇など国内経済に下振れ懸念があることから、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、平成25年６月７日発表「今後の事業戦略に関するお知らせ」のとおり、パチンコホール様を主たるお客様として、中古遊技機の販売・レンタル、設備機器等販売、不動産等のオフバランス、及びファイナンスなどを行うアミューズメント事業に経営資源を集中することといたしました。

当第１四半期連結累計期間におきましてもアミューズメント事業は順調に推移し、既存の中古遊技機の販売・レンタル事業が好調に推移したことに加えて、平成25年４月には貸金業における第１号案件を実行し、取引業態の多様化を実現しております。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間における業績は、売上高14億21百万円（前年同期比375.1%増）、営業利益60百万円（前年同期は54百万円の営業損失）、経常利益77百万円（前年同期は70百万円の経常損失）となりました。また、平成25年６月に当社子会社である株式会社ジャルコの子会社であるPT.JALCO ELECTRONICS INDONESIA（当社の孫会社 以下、「JALCO INDONESIA」といいます。）が保有する土地（地上建設権）・建物の譲渡が完了したことに伴い、固定資産売却益２億72百万円を特別利益として計上し、当該売却にかかる税金費用、その他諸費用93百万円を特別損失として計上したことなどにより、四半期純利益は２億29百万円（前年同期は１億８百万円の四半期純損失）となりました。

なお、当第１四半期連結会計期間末時点でのアミューズメント事業における運用資産は、売掛金３億22百万円（前連結会計期間末は５億67百万円）、たな卸資産３億11百万円（前連結会計期間末は91百万円）、レンタル資産７億63百万円（前連結会計期間末は４億49百万円）、貸付金７億円、合計20億97百万円（前連結会計期間末は11億８百万円）となっております。

（２）連結財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して１億16百万円増加し、10億23百万円となりました。これは主に、アミューズメント事業において売掛金が２億36百万円減少し、商品在庫が２億20百万円増加したことに加えて、現金及び預金が１億44百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して９億45百万円増加し、17億88百万円となりました。これは主に、JALCO INDONESIAが保有する土地（地上建設権）・建物の譲渡が完了したことなどにより土地23百万円、建物及び構築物62百万円が各々減少したことなどに対して、アミューズメント事業においてレンタル用資産３億13百万円が増加し、貸付金７億円が発生したことなどによるものであります。

以上により、当第１四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して10億62百万円増加し28億12百万円となりました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して５億99百万円増加し、８億50百万円となりました。これは主に、JALCO INDONESIAが保有する土地（地上建設権）・建物の譲渡が完了したことに伴い、前受金79百万円が減少し、当該譲渡に関連して今後発生する税金費用、その他諸費用として引当金46百万円を計上したことに加えて、アミューズメント事業において貸付金の原資として６億円の借入を行ったことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して10百万円減少し、１億66百万円となりました。これは主に、長期借入金６百万円、退職給付引当金３百万円が各々減少したことなどによるものであります。

以上により、当第１四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末と比較して５億89百万円増加し、10億16百万円となりました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して４億72百万円増加し、17億95百万円となりました。これは主に、当第１四半期連結累計期間において、四半期純利益２億29百万円を計上したことに加えて、平成25年５月の新株予約権行使による新株式発行により資本金及び資本剰余金合計で２億58百万円が増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月17日発表「平成25年３月期決算短信」における平成26年３月期第２四半期連結累計期間の業績予想及び通期業績予想を修正いたしております。

詳細につきましては、本日発表「特別損失の発生（不動産売却費用）及び業績予想の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①棚卸資産の評価方法

当第１四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックスプランニングを利用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	146,759	291,244
売掛金	585,658	347,951
商品及び製品	91,153	311,663
その他	83,879	73,096
流動資産合計	907,451	1,023,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	63,681	1,555
レンタル用資産（純額）	449,717	763,439
機械装置及び運搬具（純額）	1,735	1,379
工具、器具及び備品（純額）	9,048	9,267
土地	194,731	171,250
有形固定資産合計	718,914	946,892
無形固定資産		
その他	386	20,654
無形固定資産合計	386	20,654
投資その他の資産		
投資有価証券	340	340
長期未収入金	111,581	108,920
長期貸付金	－	700,000
差入保証金	6,647	6,801
その他	4,854	4,634
投資その他の資産合計	123,423	820,696
固定資産合計	842,724	1,788,242
資産合計	1,750,175	2,812,199
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,416	－
短期借入金	－	600,000
１年内返済予定の長期借入金	24,172	25,735
未払法人税等	41,329	28,894
未払金	8,288	31,074
未払費用	1,122	2,477
レンタル売上前受金	89,446	110,860
その他前受金	80,268	1,260
海外納税損失引当金	－	24,147

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
不動産売却損失引当金	－	19,473
設備売却損失引当金	－	2,500
その他	4,801	3,846
流動負債合計	250,844	850,268
固定負債		
長期借入金	150,813	144,249
繰延税金負債	16,332	16,332
退職給付引当金	9,356	5,903
固定負債合計	176,502	166,485
負債合計	427,346	1,016,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	855,000	984,157
資本剰余金	2,907,552	3,036,709
利益剰余金	△2,336,708	△2,107,233
自己株式	△5	△13
株主資本合計	1,425,837	1,913,619
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△110,073	△118,174
その他の包括利益累計額合計	△110,073	△118,174
新株予約権	7,065	－
純資産合計	1,322,829	1,795,445
負債純資産合計	1,750,175	2,812,199

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	299,176	1,421,430
売上原価	236,697	1,300,978
売上総利益	62,479	120,452
販売費及び一般管理費	116,585	59,920
営業利益又は営業損失（△）	△54,106	60,531
営業外収益		
受取利息	35	－
受取配当金	67	－
為替差益	－	14,434
受取賃貸料	10,673	6,984
有価証券売却益	326	－
その他	3,359	1,217
営業外収益合計	14,463	22,636
営業外費用		
支払利息	14,291	863
為替差損	13,251	－
不動産賃貸費用	－	1,704
その他	3,062	2,793
営業外費用合計	30,605	5,360
経常利益又は経常損失（△）	△70,248	77,807
特別利益		
固定資産売却益	61	274,136
その他	3,281	－
特別利益合計	3,342	274,136
特別損失		
海外納税損失	－	18,487
海外納税損失引当金繰入	－	24,147
不動産売却損失	－	28,967
不動産売却損失引当金繰入	－	19,473
設備売却損失引当金繰入	－	2,500
特別退職金	38,157	－
その他	3,006	－
特別損失合計	41,163	93,575
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△108,069	258,369
法人税等	877	28,894
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△108,947	229,474
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△108,947	229,474

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△108,947	229,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	553	－
為替換算調整勘定	△5,344	△8,101
その他の包括利益合計	△4,791	△8,101
四半期包括利益	△113,738	221,373
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△113,738	221,373

（３）（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（４）（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期連結累計期間におきまして、新株予約権の権利行使が行われことにより、資本金が129,157千円、資本準備金が129,157千円それぞれ増加し、この結果、当第１四半期連結会計期間末において資本金が984,157千円、資本剰余金が3,036,709千円となっております。

（５）（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額
	電子機器用部品事業	遊技機レンタル・割賦販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	269,383	29,792	299,176	－	299,176
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	269,383	29,792	299,176	－	299,176
セグメント利益又はセグメント損失	△42,239	27,659	△14,580	△39,526	△54,106

（注）１.セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△39,526千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△39,526千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２.セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年６月30日）

当社グループは、アミューズメント事業を主たる事業としており、その他に電子機器用部品事業を行っておりますが、前連結会計年度において電子機器用部品事業を他社に譲渡したことにより、当第１四半期連結累計期間における電子機器用部品事業の売上は、譲渡先からのブランド使用料のみとなっております。従いまして、報告セグメントはアミューズメント事業のみとし、その他の事業は全体として重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。